

令和5年度 西北小学力向上プラン

長崎市第五次総合計画

基本施策 G1 「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます」

G1-1 確かな学力の向上

G1-2 健やかな体と心の育成

G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実

G1-4 子どもが安全安心に学べる教育環境の整備

学力に関する児童の課題

- 学力調査において、全国・県・市平均と比較して全体的に正答率が高いが、低位児童の引き上げが必要である。
- 国語科の学力調査において「条件作文」の正答率が低く、「書くこと」に課題が見られる。
- 算数科の学力調査において答えは正解だが、説明ができない。

学校教育目標

自ら考え、共に生き、自分づくりに取り組む西北の子

めざす児童像

大すきいっぱい西北っ子～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和5年度 学力向上目標

- ① 令和6年度の全国学力・県学力・市学力テストにおいて県の平均+5ポイントを目指す。
- ② 各学期末における確認テスト（国語・算数）において「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」のそれぞれの項目に、以下に示す学年の数値目標達成を目指す。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知・技	95	90	90	90	85	85
思・判・表	90	90	85	85	80	80

目標達成へ向けた取組～研究主題「自立した学習者として学びに向かう児童の育成」～

授業研究	ユニバーサルデザインによる学習環境	家庭学習の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○低・中・高学年ごとに授業研究 ○家庭学習につながる授業展開の考察 ○主題及び学力テストの結果分析に基づいた授業作り ○「表現力」をつけるため、自分の考えを書いたり、ペア・グループで話したりする活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意思表示ができる子どもを育てる。 →ハンドサイン →カード（青～自分でできます。） （黄～助けてください。） ○一単位時間の授業の流れの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ○机に向かう習慣を付けさせる。 ○キュービナの活用方法を検討 ○宿題から自主的な学習への移行 ○「学習調整力」をつけるため、選択式家庭学習への取組

目標達成へ向けた取組～学びを支える素地づくり～

自立した学習者	学級経営	読書活動
<ul style="list-style-type: none"> ○7つの視点を意識した取組 ・自己管理能力・自律の精神 ・表現力・自己分析力・学習調整力 ・学習状況把握力・他者と関わる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土を構築し共働的・対話的学びを促進する。 ○道徳教育・人権教育を学級経営の中心に据える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の推進 ⇒読書企画による意欲喚起 ⇒パキラの会や司書教諭との連携 ○読書週間の重点的な取組

